



発行所
新潟産業大学
父母の会事務局
〒945-1393
新潟県柏崎市軽井川4730
☎(0257) 24-6402
FAX 22-8241

父母の会に思うこと

新潟産業大学父母の会 会長 関矢 秀幸



在校生のご父母並びに、保護者の皆様におかれましては、日頃から父母の会の活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。父母

の会では、事業の一つとして、「父母の会会報」を発行し、大学や父母の会の近況報告、父母へのお知らせ等を行っております。先日この原稿のネタ探しに、大学のホームページを見ていたところ、以下の記事を目にしました。(抜粋 平成6年7月24日、本学講堂において、第1回新潟産業大学父母の会総会が開催され、全国より300名弱のご父母が出席された。会則予算案並びに役員等について承認され、ここに「新潟産業大学父母の会」がめでたく発会し、初代会長は、長野県保護者の生の生みの親である青木氏が就任した略)と、平成7年4月5日発行の大学学報「青海波」第7号に連載されておりました。諸先輩方が作られてきた父母の会も、今年で22年目を迎えることとなります。しかしながら、ここ数年、総会参加者も減少傾向にあります。総会や支部総会は、お子様方の就職活動に関する情報、日頃の学修活動に関する情報など、大学教職員と直接のコミュニケーションによって

知ることができ、父母の会会員同士の情報交換もできる貴重な機会です。会費も割安であり、総会後の懇親会も含めて、是非ともご参加くださいませ。お願い致します。県外の皆様も、今後は総会時など、柏崎巡りなどの、オプションも設けたいと考えております。海、山、風光明媚な歴史ある柏崎へ観光を兼ねて総会において下さい。心からお待ちしております。

さて我々父母の会は、何よりも学生の支援に力を注ぎ、在校生がより快適な学生生活を送れるよう大学との連携を図る団体です。親の希望として、子どもが4年間で卒業し、自分が希望する会社に就職して、自立して欲しいと言いう意見が多いですが、親として子どもの教育に関わるので、親として最後の時間です。是非父母の会の活動を通して、楽しみながら一緒に子どもの成長をサポートし、将来の夢や希望に向けて充実した学生生活を送れるように、様々な支援をしていきましよう。

最後になりましたが、今後とも父母の会の諸行事に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新潟産業大学の発展、皆様のご健康を祈念致しまして、挨拶とさせていただきます。



(大学のマスコット：サンチャッカル君)

大学の存続、発展のために

新潟産業大学 学長 北原 保雄



保護者の皆様のご協力には、心から感謝しております。私が勤めていた大きな大学では、学生と職員(教員・事務員)だけが存在し、保護者の会などはありませんでした。「父母の会」は、人作りを目標に掲げる本学にとっても有難い存在です。私は入学式や卒業式の式辞などで学生たちに、「大学は在学生と職員と卒業生の三者から構成されている。長い輝かしい伝統を受け継ぎ、発展させていくのは君たちの責務だ」と述べ聞かせていますが、在学生を支えてくださっているのは、まさに保護者の皆様です。真の人作りは大学だけでは達成することができません。ご家庭のご協力が不可欠です。よろしくお願いたします。

ご子息の一人一人は、勉学にスポーツに懸命に励んでおられますが、まだ若くいろいろな悩みを抱えているようです。人作りを目指す本学は、個々の学生に丁寧に対応し、その人なりの自己を成長させ、自己記録を更新してもらおうような指導をしています。保護者の皆様におかれまして、よろしくお願申し上げます。

全国的に少子化が進み、若者の都会流出が増大して、どの地方大学も学生数確保に苦しんでいます。本学も例外ではありません。大学の収入の多くが学生の学納金(授業料)によるものであり、本学も財政が厳しい状況に立ち至っております。この窮地を抜け出すべく、私どもは輝かしい伝統を守りつつより魅力ある大学に生まれ変わるための大学改革を断行するとともに、公立大学法人化を実現すべく努力をしているところです。

そういう中で、柏崎市もまずは大学の充実、魅力の向上ということで特別な助成金を講じてはいますが、今般、本学では、学生に対する教育を一層充実するために、「新潟産業大学基金」を創設しました。すでに卒業生、地元企業、篤志家などいろいろな方々から芳志を頂戴しています。現職の職員も多くも寄金しています。保護者の皆様にも是非ご協力ご支援を賜りたくお願申し上げます。

『父母の会』年間事業

〈平成28年度 年間スケジュール〉

- 5月 前年度会計監査
- 6月 個別面談会
- 9月 役員会・総会・講演会の開催
- 9月～12月 各支部総会開催
- 10月 文化講演会

(学園祭開催に合わせて実施)

- 2月 会報発行
- 3月 役員会

〈役員募集中心〉

平成28年度の「父母の会」役員を募集しております。大学のこと、学生たちのことを一緒に考え活動してみませんか。我こそはという方は、父母の会事務局(0257-24-6402)までご連絡ください。

父母の声

父母の会 幹事長・新潟支部長 佐藤 孝夫



日頃、父母の会の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

この父母の会は、会則に記されており、主に「教育活動を推進し、学生及び教職員の教育並びに福利の増進を図り、大学と家庭との連絡協調を緊密にする」とともに、相互の理解と協力により、大学の発展に寄与する」とあります。

具体的な活動としては、6月の総会、11月の紅葉祭時の文化講演会、9月・12月の各支部総会が大きな柱であります。

本年度も滞りなく(?)開催してまいりましたが、参加される会員の皆様が増少してきているのが実態です。

また、入学される学生が減少していることもあり、父母の会の「台所」も苦しい状況にあります。

父母の会のあり方、総会等の開催時期、方法について論議していかねばならないことが課題ではないかと思っております。

会員の皆様、意見、考えがございましたらご提案いただきたいと思います。

私自身、正直なところ、当初、大学の父母の会、小中学校ではあるまいし、と思っておりましたが、行事への参加、役員として運営参加させていただけなかで、学校との距離感もつきまじり、少しだけかもしれませんが、理解するようになりまし。

会員の皆様におかれましては、活動への関心を持っていただき、まずは参加することをお願いしたいと思います。きつと、何かがあります。

社会で活躍する学生

新潟産業大学 学生委員長 梅比良真史



今年もまた、もうすぐ卒業式を迎える季節となりました。卒業する学生諸君の顔を見て、「ええっ、もう卒業だ」と声をかけるのが常となりました。本当に歳月の過ぎていくスピードに追いついていくのは簡単ではありません。

というのも大学での一年は、学生にとっても教職員にとっても、びっしりと詰まったスケジュールに沿って進行します。授業があり、試験もあり、それに夏休み・冬休み・春休み、アルバイトに部活、学園祭、資格試験、就活などなど、大学生活は目まぐるしいのです。そのような大学における学業、スポーツ・文化活動に対し、いつもながら父母の会のみなさまには大いに協力いただき、感謝しています。

さて本学は平成26年11月、柏崎市に「新潟産業大学の公立大学法人化について」の要望書を提出し、地域の知の拠点となり、地方創生に寄与すると宣言しました。産大は地域に貢献することを大学のミッションに掲げ、地域に深く深く参入しようとしています。その主役は学生です。たとえば柏崎では「まちかど研究室」に集う産大生の姿がみられるはず。また水球部をはじめ、卓球部、サッカー部、空手道部、ライフェービング部など、全国的な競技大会で活躍していることはご存じのことと思いますが、地域のクラブチームと密接に協力し、地域のスポーツ振興に大きな役割を果たしています。

地域といっても柏崎、新潟にとどまるものはありません。卒業生は日本全国で活躍しています。さらに中国、モンゴル、韓国、台湾、ベトナム、ネパールなどからの留学生もいます。産大ネットワークは海外諸地域にも広がっています。

学生たちはこうして社会と少しずつ関わりを持ち、世界に眼を向け、社会人になっていきます。ひとりひとりの学生が自分の能力を伸ばし、各々の地域社会で活躍できるようにすることが大学の使命だと考えています。そのためにも父母の会のみなさまのご協力も不可欠であることはいままでもあります。これからも変わらぬご支援をお願いします。

就職活動体験談

経済学部 4年 種岡 健太



私は、株式会社マルイに就職が決まりました。ただ第一志望であった金融業からは内定を頂けませんでしたが、

私は、大学で学んだことを活かして、生まれ育った新潟県のために働きたいと考えました。金融業ならば大学で学んだ簿記や経営学の知識が活用できると考えました。その中でも、地域に密着して活動している地方銀行の就職を目指し、駄目だった場合は、小売業を中心に就職を考えました。

一昨年の十二月に行われた就職セミナー後から本格的に就活の準備を始めました。ただ1年生のときから就職ガイダンスに参加するなど、早い時期から準備を進めてきました。セミナーでは採用試験を想定しての面接などを行い、緊張した場面での、自分の考えを伝えることの難しさを知りました。

その後、就活に向けて主に企業・業界研究を行いました。インターネットを活用し、情報を集めました。また、とある地方銀行のインターンシップに参加し、インターネットでは知ることのできない様々な情報を得ることができました。

そして3月・4月に企業説明会に10回参加し、新潟県内の企業5社の受験を決意しました。しかし金融業の採用試験を受ければ就活が終わることは8月以降になるため、私は長い戦いになると感じました。

4月下旬にマルイで最初の採用試験を受け、5月下旬に内々定を頂きました。緊張していましたが、就活セミナーの経験や何度も就職課の方と面接練習を行ったことで、緊張した場面でも、自分の考えを伝えることができました。

しかしその後受験した金融業の採用試験では全て面接で落とされてしまいました。私のコミュニケーション能力がまだまだ未熟だったことが失敗した要因だったと思います。私は、早い時期から内定を頂き、就職に関するハラスメントもなかったの株式会社マルイに就職しようと思断しました。

就活を通じて私は改善しないといけない点が多くあると感じました。この経験から学んだ自分の弱い部分を直していきけるように努力し続けたいと思います。

経済学部 4年 川上 知尋



3月に就活が解禁され、合同企業説明会に8回、会社個別説明会に9社、エリー販売会社を1社受け、第一志望であったネットヨタ越後内に内定を頂きました。

私はいくつかのポイントを軸に就活を進めました。1つは、「成果主義」であることです。毎月数字で成果が目に見えることで、悪い時には反省しやすく、良い時はもっと上を目指そうという向上心に繋がるからです。また、自分が成長している職場であることです。もう1つは結婚・出産後も働き続けられることです。結婚・出産後の復職を説明会で質問し、長くその会社に居続けたいという意思を伝えました。

私がネットヨタ越後を志望した理由は、「年功序列を撤廃し、頑張った者が報われるような成果主義」であるからです。また、尊敬する社員の方がいるからです。入社後は多くのことを経験し、学び、将来は店長や管理職を目指していきたいです。就活を通して感じたことがいくつかあります。

まず、面接などに関しても、面接では思いがけない質問をされることが何回もありました。その時には、黙り込んでしまうのは印象が良くないので、どんな質問でも自分の考えをしっかりと述べることが大切だと思いました。できるかどうかは深く考えず、「自分はこの会社で将来こんなことがしたいです!」こうなりたいたいです!という意欲を伝えました。次に、学生生活に関しても、私には学生生活の中で、学業はもちろんのこと、多くのことに挑戦してきました。学友会に所属し、学友会長を経験したこと、趣味でよさこいやトレーニングジムに通ったこと、授業以外でも様々な課題に取り組んだこと、これらの経験は面接での話題作りで役立ちました。それだけではなく、自分自身を企業に売り込む自信に繋がりました。また、仲のいい友達とだけ一緒にいるのではなく、先輩や後輩、教職員や外部の人と積極的に関わり、受け身ではなく、失敗することを恐れずになんでもやってみることが、就活を上手く進めていく上で大切だと私は思います。

預金一覽

(平成27年3月31日現在・単位：円)

Table with columns: 種別, 金額, 満期日, 備考. Includes categories like 事業積立金, 奨学基金積立, 決済用普通預金.

父母の会会計

収入の部

(単位：円)

Table with columns: 科目, 26年度予算額, 26年度決算額, 比較増減, 摘要. Includes items like 会費, 雑収入, 前年度繰越金.

支出の部

(単位：円)

Table with columns: 科目, 26年度予算額, 26年度決算額, 比較増減, 摘要. Includes items like 事務費, 役員会開催費, 支部活動補助費, 奨学事業費.

Information

経済的理由により修学困難な学生を支援する 学費軽減制度について

新潟産業大学では、経済的理由により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を導入しています。詳細は、以下の通りです。ご不明な点は、学生課(0257-24-6402)までお問い合わせください。

- 1. 対象者 本学の学部学生で、学費負担者の年間所得が次表に該当する者(留学生を除く)。

Table with columns: 通学形態, 自宅通学, 自宅外通学. Row: 年間所得の上限, 300万円程度, 350万円程度.

- 2. 学費軽減の期間 平成28年度(1カ年)
3. 学費軽減の範囲 授業料に限り2分の1を上限として軽減します。
4. 申請手続き方法 学生課にある所定の用紙に必要事項を記載するとともに必要書類(授業料減免申請書、家庭状況調査書、市区町村発行のH26年度所得・課税証明書、H27年度の所得金額を証明できるもの、他生活の困窮を証明できるものなど。詳しくは、申請書類に記載)を用意し、学生課に締切日までに提出してください。単年度申請であるため、今年度の採用者についても改めて申請する必要があります。
5. 申請書類提出期間 平成28年1月6日(休)~2月10日(休)
6. 審査について 学内において、提出された書類を基に、学費負担者および家計を一にする家族の年間所得、家族構成、奨学金受給の状況、修学意欲等を総合的に審査し、採否を決定します。
7. 通知について 学費軽減の採否については、3月11日(金)までに保護者宛に文書で通知します。

父母の会奨学貸付制度について

父母の会では、会員が経済的に困窮し緊急に援助を必要とする場合について、以下の通り無利子で資金を貸し付ける制度を設けています。貸与を受けられる範囲は、新潟産業大学父母の会会員の子弟に限ります。

詳しくは、父母の会事務局(0257-24-6402)までお問い合わせください。

- 1. 貸付限度額：学納金年額の限度内とします。但し、貸付金は学納金に充当しなければなりません。
2. 返 還：貸付年度内に返還しなければなりません。
3. 提出書類：学生課にある所定の用紙に必要事項を記入し、連帯保証人の身分を証明する書類を添え、父母の会会長まで提出しなければなりません。
4. 決 定：選考委員会で審査し、父母の会会長が決定します。
5. そ の 他：学籍を離れる場合は、直ちに全額を返還しなければなりません。



(大学のマスコット：サンチャッカル君)

産大トピックス

【水球部】



平成27年7月25日(土)、「おん柏崎まつり」二日目のたる仁和賀パレードに、北原保雄学長を先頭に、水球部員と卓球部員、留学生を中心とした学生35人、教職員10人が「新潟産業大学みこし」で参加しました。

【空手道部】

今年度で11回目。今回は、「地元」に学んで地元をおこすをテーマに、学生主体のみこしに発展させたことが目標で、練習無しのブツツケ本番でしたが、パレードの終盤では、2年生神谷省吾君、同じく白川大地君、同じく羽田麟太郎君がみこしの先導役後継者として一本立ちしました。パレードの実行委員会本部前と協賛会本部前の2か所では、3年生の宮澤僚太君が、学生代表として清々しく口上を述べ、全員で威勢良く三本締めをきめました。

当日、日中は気温38度、夜になってもなかなか暑さが引かない猛暑日。身体が水分を求めます。打ち上げ懇親会でも、20歳以上の参加者に用意したビールは減らず、学生も教職員も麦茶などの冷たいソフトドリンクに手が伸びていました。

沿道でいただいた市民のみなさまのご厚志やご声援。そして準備・打ち上げの場所のご提供をいただいた不動産様に心より感謝申し上げます。

【ライフェーリング部】

7月18日から20日の間、宮崎県青島ビーチで行われた「三洋物産インターナショナルライフェーリングカップ2015」国際大会で2年高橋志穂選手が種目「レスキューチューブレスキュー」で2位に入りました。

また11月14日から15日の二日間、千葉県国際総合水泳場(習志野市)で行われた「第7回全日本学生ライフェーリング・プール競技選手権大会(インカレ)」において37団体70人が出場するなか、同



じく高橋志穂選手が種目「女子20m スーパーライフェーバー」で見事優勝を果たしました。

高橋選手は、これまで世界大会や全日本大会での入賞やメダル獲得はありますが、室内競技の個人種目としては初のメダルとなります。

また同大会のBLSアセスメント(心肺蘇生法・AEDの正確さを審査する)で、次の学生がA判定を受けました。3年本間知葵選手、1年佐々木勝馬選手、2年伊藤さゆみ選手、高橋志穂選手の4名。同部の来季の更なる活躍が楽しみです!

【空手道部】

4月26日、富山大学(富山県)を会場に行われた、「第41回北信越学生空手道選手権大会(個人)」に於いて、本学空手道部は、男女とも入賞することができました。特に、女子組手の部で、3年の久我希選手が優勝し、3連覇を達成!その他は、男子組手3位1年錦織奨選手、女子組手3位岡本桜選手でした。いずれも夏のインカレに出場。入部したばかりの1年生部員も入賞し大健闘してくれました。

また9月6日、金沢星陵大学スポーツアリーナに於いて、第60回北信越大学空手道選手権大会(団体組手競技)が開催され、本学空手道部は、男子団体組手で見事優勝、女子団体組手は3位入賞を果たしました。男女とも、11月22日大阪で行われた全国大会(インカレ)にも出場しました。

そして11月28日・29日の両日、富山市で行われた北信越学生空手道新人選手権大会で本学が個人組手でアベック優勝を果たしました。優勝したのは、男子1年永井怜惟選手と女子1年岡本桜選手。さらに1年安達拓光選手が3位入賞。先の男子団体優勝の経験に加え、来年更に空手道部は上昇気流にのります。



5月16日及び17日、新潟市西総合スポーツセンターで行われた「平成27年度春季北信越学生卓球選手権大会兼85回全日本大学総合卓球選手権大会」において、卓球部男子が団体種目10大学が出場する中、15年ぶりに10度目となる念願の優勝を果たし、7月の愛媛県開催のインカレに出場しました。

また11月7日及び8日、富山県総合体育センターで行われた「平成27年度秋季北信越学生卓球選手権大会」において、男子ダブルスの部で3年宮澤

【水球部】

9月4日から6日の間、神奈川県相模原市立総合(グリーン)プールで行われた「第91回日本学生選手権水泳競技大会(水球競技)」(インカレ)において、男子水球部は、1993年(平成5年)の初出場以来毎回出場を達成し、このたび初の準優勝を果たしました。出場大学は、全国の地区予選を勝ち上がった全16大学で、本学水球部は7月中旬学生水球選手権を連覇し出場。以下にインカレの戦績を表します。【1回戦】対専修大学8-7、【2回戦】対明治大学16-9、【準決勝】対早稲田大学11-9、【決勝】対日本体育大学3-20。

また、7月22日、本学23教室において水球の世界大会「2015世界ジュニア選手権大会」(期間:9月4日~12日、開催地:カザフスタン・アルマトイ)に出場した1年濱田周選手の日本代表派遣壮行会が行われました。会場内は100人程の学生や教職員の応援する熱気に包まれ、司会の荒井学友会長から、7月3日から韓国で行われたユニバーシアード大会での出場報告。そして濱田選手のプロフィールが紹介されました。そのユニバーシアードでは10得点をあげ、日本チームの主力選手として活躍しました。

水球部男子は着実に地力が底上げされ、女子はチーム力を養成しながらインカレをめざします。今後の活躍に大いに期待しましょう!



5月16日及び17日、新潟市西総合スポーツセンターで行われた「平成27年度春季北信越学生卓球選手権大会兼85回全日本大学総合卓球選手権大会」において、卓球部男子が団体種目10大学が出場する中、15年ぶりに10度目となる念願の優勝を果たし、7月の愛媛県開催のインカレに出場しました。

また11月7日及び8日、富山県総合体育センターで行われた「平成27年度秋季北信越学生卓球選手権大会」において、男子ダブルスの部で3年宮澤

【卓球部】

5月16日及び17日、新潟市西総合スポーツセンターで行われた「平成27年度春季北信越学生卓球選手権大会兼85回全日本大学総合卓球選手権大会」において、卓球部男子が団体種目10大学が出場する中、15年ぶりに10度目となる念願の優勝を果たし、7月の愛媛県開催のインカレに出場しました。

また11月7日及び8日、富山県総合体育センターで行われた「平成27年度秋季北信越学生卓球選手権大会」において、男子ダブルスの部で3年宮澤

【水球部】



僚太選手及び同3年高橋将知選手が見事優勝(4連覇中)しました。

また、男子シングルの部で同じく宮澤僚太選手が3位、女子シングルの部で2年邱文諭選手が3位でした。

団体戦において新潟産業大学は男子が準優勝、女子が3位でした。

また10月17日、新潟県長岡市北部体育館で行われた「平成27年度新潟県硬式卓球選手権大会(会長杯)兼全日本卓球選手権大会新潟県予選会」において、1年齋藤駿介選手が男子シングルスで見事優勝し、また3年宮澤僚太選手が同種目で準優勝しました。これにより両選手は、平成28年1月11日から17日の間、東京体育館で行われる「平成27年度天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会」に出場しました。現在男子15名女子10名(計25名)の活気溢れる卓球部、粒ぞろいですので団体個人共に今後が楽しみです!

編集後記

「人口減少を伴う少子高齢化や「地方創生」という言葉が日本の重大問題・課題として飛び交っています。特に地方人口(特に若者)の減少は著しく、東京一極集中が招く地方消滅が一刻と現実味を帯びて来ました。

東京に住んでいると日本の人口が減っていることとは実感できませんが、地方都市は人影無い駅前ロータリー、そこから続く長いシャッター街、何よりも若者が見当たらない。これはもはや日本の地方の普通の光景です。この打開策は見当もつきませんが、素人ならではの幼稚な発想が浮かんできます。それは、「国家戦略特別区」という地域を選定されましたが、同様に「人口対策特区」を作ったらどうでしょう。その特区では、所得税軽減・消費税軽減・法人税軽減を行う。そうすれば企業が移転し、人も移住するでしょう。このくらい強い施策をやらなければならない、現状を打開できないうちに思われる昨今の地方の衰えぶりです。地方の振興努力と共に、国の強力な施策を期待してしまいいます。

本学も微力ながら地方創生の一役を担う存在でありたいと思います。

父母の会事務局